

常なる磐

つねなる いわ

令和2年11月13日(金)

◇ 学校創立120年・移築新築34年記念式典に向けて

4年間にわたり、粛々と進めていただいた「常磐東小学校創立120年ならびに移築新築34年記念行事」の準備が整い、15日(日)の当日を迎えるだけとなった。

実行委員の皆様をはじめ保護者の皆様、ここに至るまで様々な形でご協力をいただいた関係各位に対し、心より感謝を申し上げたい。

さて、記念式典となると、かしまった「大人のまつりごと」のニュアンスが強い。節目となる価値ある式典であるが、参加する子供たちにとっては、大人の難しい話をきくだけの「我慢の行事」になりかねない。そこで、実行委員会にお願いし、子供たちが参加する【常磐東っ子120年宣言】と【鼓笛演奏】を次第に組み入れていただいた。さらに、いずれも全校児童が参加する形で式典に臨むようにした。

手前味噌ながら、この二つが実によい。心が温まる。

前年度末から、こつこつと地道に練習を重ねてきた上学年(4年生以上)の【鼓笛演奏】であるが、新たに3年生の鍵盤ハーモニカが加わり、音に厚みを増した。さらに、音楽の授業で練習した1・2年生のカスタネットのリズム演奏を加味させることで、全校演奏を可能にしている。まさに学習の成果と継続した努力の合わせ技である。

リズムに合わせた動きも見逃せない。練習を重ね、ぴったり動きが合ってきた。

敬老会の開催方法の変更で機会を失い、学習発表会でも見送った『演奏披露がやっとできる』と、子供たちも待ちに待った最初で最後の鼓笛演奏発表でもある。

【常磐東っ子120年宣言(内容は学校だよりに掲載)】は、常磐東の未来に向けた「子供たちの発信」である。

中根岡崎市長様や安藤教育長様、歴代校長先生をはじめとする来賓の皆様を前に、子供たちが「ひ」「が」「し」に合わせた宣言文を、声高らかに堂々と宣誓する。

大げさなものではない小さな動きだが、宣誓時には「振り」もある。しかし、これを見事にやってのけるのは、学習発表会の経験が大きい。

聞くだけではない、聴覚と視覚に訴える宣誓である。これが心を温める。

「大人のまつりごと」ではない【子供たちが主役】の式典。

これが、今回の「常磐東小学校創立120年ならびに移築新築34年記念行事」なのである。